

米国財団法人野口医学研究所主催 2016年医学研修生の募集をスタート

米国財団法人野口医学研究所（所在地：東京都港区、創立者・名誉理事 浅野 嘉久）は、米国医科大学および付属病院での医学研修を希望する医師、研修医の募集を2016年9月5日にスタートしました。

当財団は、世界の医学交流の拠点として有能な人材を育てるため、国際留学システムを通して毎年、有能な人材を米国などの海外医学先進国へ派遣しております。帰国した医師らは、日本における当財団がコンセプトとする「医療の場に於ける医師と患者との間に在るべき共感や心の交流」（Humanity and Empathy in Medicine）を実践するために日々活躍しています。また、当財団は1986年から2016年までに合計836名の研修生を米国に送り出しております。



研修生		研修生	
1986年	6	2002年	31
1987年	6	2003年	40
1988年	6	2004年	52
1989年	10	2005年	43
1990年	11	2006年	44
1991年	11	2007年	47
1992年	14	2008年	32
1993年	26	2009年	42
1994年	21	2010年	35
1995年	19	2011年	34
1996年	19	2012年	34
1997年	26	2013年	43
1998年	20	2014年	30
1999年	30	2015年	22
2000年	29	2016年	23
2001年	30	合計	836

【2016年 米国に於ける医学研修生 選考会】

- 医師を対象としたエクスターンシップ 選考会概要
- 医学生を対象としたワークショップ 選考会概要

◎日時 2016年12月4日（日） 9：00～17：00（受付開始8：30）

◎会場 日本歯科大学 生命歯学部キャンパス

◎応募資格【医師を対象としたエクスターンシップ】

- ①医学部6年生（2017年3月卒業見込み）もしくは卒業後日本の医師免許を取得している者
- ②一般的なコミュニケーション英語能力、医療英語能力がある者。
またUSMLEに合格していることが望ましいが、これに準ずる能力を有している者も可
- ③米国での臨床研修に目的意識を持って、意欲的に取り組んでいる者
- ④2016年12月3日に実施する第21回医学交流セミナーに参加する者

【医学生を対象としたワークショップ】

- ①医学部5年生（M3）※場合によっては医学部4年生も受け入れ可能になります。
- ②米国での臨床研修に目的意識を持って、意欲的に取り組んでいる者
- ③2016年12月3日に実施する第21回医学交流セミナーに参加する者

◎応募書類 【医師を対象としたエクスターンシップ】

- ①申込用紙（当財団ホームページよりダウンロード）
 - ②写真付き履歴書（和文、当財団ホームページよりダウンロード）
 - ③Curriculum Vitae: CV（英文）写真付き
 - ④Personal Statement: PS（英文）「なぜ米国留学を希望するのか」という内容を含めること
 - ⑤英文の推薦状2通（2人の推薦人から直接当財団宛に郵送すること）
 - ⑥TOEFL等の英語検定試験成績書のコピー
 - ⑦USMLE step1 step2 CKの合格者はそのscore reportのコピー、step2 CSの合格者は合格書のコピー、ECFMG certificateの保持者はそのコピー
- ※③～⑤は、A4サイズ用の紙にタイプしたものに限りません。
※③～⑦は、選考採点の対象になります。
※③④は米国研修先に提出するつもりで作成してください。
※英文の書類については、英語を母国語とする方にあらかじめ査読して頂くことをお勧めします。

【医学生を対象としたワークショップ】

- ①申込用紙（当財団ホームページよりダウンロード）
- ②写真付き履歴書（和文、当財団ホームページよりダウンロード）
- ③Curriculum Vitae: CV（英文）写真付き
- ④Personal Statement: PS（英文・A4サイズ1枚程度）
「なぜこのプログラムへの参加を希望するのか」という内容を含めること
- ⑤TOEFL等の英語検定試験成績書のコピー

◎選考方法・スケジュール

書類審査・英語と日本語による面接とPBL方式グループディスカッション
スケジュールは随時当財団ホームページにて公開

◎選考会受験料

【医師を対象としたエクスターンシップ】
8,000円

【医学生を対象としたワークショップ】
5,000円

※振込みの際は、必ず氏名を入力してください。口座番号等は当財団ホームページをご確認ください。

◎申込締切 2016年11月1日（火）必着

※申込用紙を先にメール添付でお送りください。その他の書類は期限までに作成し、メール添付にてお送りください。メール添付が難しい場合は郵送でも構いません。書類送信先：ryugaku@noguchi-net.com/

●研修概要

【医師を対象としたエクスターンシップ】

- ◎研修先 ①トーマスジェファーソン大学（ペンシルバニア州・フィラデルフィア市）
②フィラデルフィア小児病院（ペンシルバニア州・フィラデルフィア市）
- ◎研修内容 3～4週間のエクスターン研修。（レジデントを目指す方にお勧めします）
- ◎研修時期 2017年8月～2021年6月 ※左記期間中に研修先と研修生の日程を調整して決定します。
- ◎研修費用 米国大学への研修費は当財団が負担しますが、滞在費、交通費は自己負担となります。

【医学生を対象としたワークショップ】

- ◎研修先 トーマスジェファーソン大学（ペンシルバニア州・フィラデルフィア市）
- ◎研修内容 Clinical Skills Program
- ◎日程 2017年3月予定
- ◎研修費用 米国大学への研修費は当財団が負担しますが、滞在費、交通費は自己負担となります。

主催：米国財団法人野口医学研究所／特定非営利活動法人野口医学研究所

後援：一般社団法人野口医学研究所

私たちが目指すのは、命を守る医療人の国際化です。



米国財団法人野口医学研究所は、日本が生んだ世界的医学者・野口英世博士の業績を記念し、日米を基軸とする国際医学交流の促進を目論み、フィラデルフィアに設立された米国免税財団法人です。

日野原重明博士、ジョセフS.ゴネラ博士らの発案で、浅倉稔生博士とその教え子である浅野嘉久博士らにより設立され、世界の最先端を行く米国医学教育研修制度の実践と、国際医学交流の促進を図り、毎年数多くの日本人メディカルスタッフを提携先の米国の大学へ送り出すなどの活動を続けています。

こうした活動を通して米国の臨床医学・医術・医療を学んだ医師らが医療チームの核となり、近年育ちつつある、日本に於ける「患者中心の医療」「質の高い医療」の実現を実践しています。

基本コンセプトと合言葉「Humanity and Empathy in Medicine」



米国財団法人野口医学研究所では、患者様の痛みや苦しみを共感でき、「私達に治療させてください」と言えるメディカルスタッフの教育・育成並びにその支援をすることを第一義と考え「Humanity and Empathy in Medicine」を合言葉に、活動しております。

創立者・名誉理事
浅野 嘉久

<組織概要>

組織名称	米国財団法人野口医学研究所
創立者	創立者・名誉理事 浅野 嘉久 創立者・名誉理事 Joseph S. Gonnella
評議員会	会長 佐藤 隆美 副会長 津田 武 筆頭評議員 蓮見 賢一郎 評議員 阿部 博幸 評議員 渡辺 和夫 評議員（終身） 浅野 嘉久 評議員（終身） Joseph S. Gonnella
所在地	日本事務局 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-22-13 虎ノ門秋山ビル5階
設立	1983年6月
電話	03-3501-0130
FAX	03-3580-2490
WEBサイト	http://www.noguchi-net.com/

【読者・視聴者からのお問い合わせ先】

米国財団法人野口医学研究所 医学教育&交流室
担当：室長 ステロラ スンヨビ
副室長 杉田 恭子（すぎた きょうこ）
TEL：03-3501-0130 FAX：03-3580-2490
Email：ryugaku@noguchi-net.com

【本プレスリリースに関する報道関係者からのお問い合わせ先】

米国財団法人野口医学研究所 日本事務局
担当：掛橋 典子（かけはし のりこ）
TEL：03-3501-0130 FAX：03-3580-2490
Email：ryugaku@noguchi-net.com